

浅原賞学術奨励賞 応募書類作成の上の注意事項

【推薦書について】

- (授賞候補者の資格)
2017年3月31日に満37歳未満(生年月日が1980年3月31日以降の方)で、応募の年の10月末日までの1年間に、「自動車技術会論文集」等自動車技術に関係ある公表印刷物に、論文またはこれに準ずるもの(査読制度のない公表印刷物へ発表されたもの)を発表した将来性ある新進の個人。
ただし、既に何れかの自動車技術会賞を受賞した方、今回浅原賞以外の自動車技術会賞を受賞する方、本会役員の経歴のある方を除きます。
- 「⑩推薦理由」欄は、受賞候補者を推薦する理由を、「⑩推薦事項」欄に記載の「論文または論文に準ずるもの」(以下「論文等」)の **自動車工学または自動車技術への寄与及び将来性の説明を含めて**、500字以内で簡潔かつ明確に記入してください。
- 推薦する論文等が複数名の共同執筆によるもの場合は、当該論文等における受賞候補者個人の寄与度についての説明を「⑩推薦理由」欄に記入してください。
- 推薦(申請)書は、A4用紙に印刷し「③推薦(申請)者氏名」欄に押印したものを原本として1部、またそのコピーを8部(計9部)提出してください。
- 添付資料として、推薦する論文等を必ず提出してください。(「論文」、「論文に準ずるもの」のいずれの場合も1編のみ提出。ただし、「論文」の場合は同一論文名の続報は初報と合わせて1編として取り扱うことができます。)
この他に補足資料がある場合は「補足説明」(A4用紙3頁以下)および「関連論文」(3編以下)を提出できます。提出部数はそれぞれ6部です。

推薦書コピー、添付資料、補足資料を1セットとし、資料の種類が分かるようにして、クリアホルダーにいれ、6セット用意して下さい。残りの推薦書コピー2部と原本1部は別にまとめて下さい。大型のカタログなどは別で結構です。資料のセットはそのまま選考資料となりますので、種類等に間違いが十分にご確認下さい。

なお、推薦する論文等は自動車技術に関係する公表印刷物で、2015年11月1日～2016年10月31日までに、次に発表されたものとします。

(論文)

・「自動車技術会論文集」など、査読制度があり掲載論文の全文を校閲するもの。

(論文に準ずるもの)

・FISITA、APAC、EVTeC、FAST-zero、SETC、P,F&L等の国際会議のProceedings
・本会会誌「自動車技術」
・その他自動車技術に関係ある機関誌等

【書類の提出について】

- 推薦書の電子データについて
CDにてご提出下さい。、推薦書類一式が収められたExcelファイルは、シートの移動や削除ができない仕様になっていますので、そのままご提出ください。複数の推薦書類を作成する場合は、ファイルをコピーしてご利用下さい。
- 応募書類に不備がある場合は、返却させていただきます。
なお、不備による再送付の場合の締切も11月30日(必着)となりますので、応募書類は余裕をもってご提出下さい。

浅原賞学術奨励賞 応募書類 確認票

応募書類を送付する前に、下記をご確認いただき「確認欄」にレ点でチェックをしてください。本紙は、確認者が記名し、必ず応募書類に同封してください。

応募内容の確認

確認事項	確認欄
<p>■既に何れかの自動車技術会賞を受賞した、今回浅原賞以外の自動車技術会賞を受賞する、本会役員の経歴のある方ではありませんか。 また、授賞年(応募した年の次の年)の3月31日の時点で、満37歳未満ですか。</p> <p>■推薦(申請)者「氏名」欄に押印がありますか。</p> <p>■推薦する論文等が複数名の共同執筆によるもの場合は、当該論文等における受賞候補者個人の寄与度についての説明を「⑩推薦理由」欄に記入していますか。</p> <p>■対象掲載先の論文名、掲載誌名、巻号、発行年月日、が正確に記載されていますか。 (※間違いが多いのでご注意ください)</p> <p>■補足資料がある場合は「補足説明」(A4用紙3頁以下)および「関連論文」(3編以下)を添付していますか。</p>	

応募書類の確認

応募書類	送付部数	セット	確認欄
1 推薦書 原本	1部※		
2 推薦書 原本のコピー	8部※	3種を1セットで、6セットを用意。 1セット毎にクリアホルダー※	
3 添付資料	6部※		
4 補足資料(※資料がある場合のみ)	6部※		
5 ⑩受賞歴に「自動車技術会賞」の受賞歴のある場合は、 本会サイト http://www.jsae.or.jp/09award/jsaeawalist.php に掲載の、候補者の名前が記載されている部分のコピー ※該当授賞回のページ→受賞一覧→詳細ページ	1部 【該当者のみ】		
6 推薦事項の評価を希望する分野について	1部		
7 >>推薦(申請)書(共著者用とセット)のExcelデータ >>推薦事項の評価を希望する分野についてのExcelデータ ※Excelファイルはシート構成を変更できませんので、そのままCDにコピーしてご提出下さい。(他シートも含まれたまま)	CD1枚		
8 本紙「応募書類 確認表」(書類の先頭に添付してください)	1部		

※推薦書コピー、添付資料、補足資料を1セットとし、資料の種類が分かるようにして、クリアホルダーにいれ、6セット用意して下さい。残りの推薦書コピー2部と原本1部は別にまとめて下さい。大型のカタログなどは別で結構です。資料のセットはそのまま選考資料となりますので、種類等に間違いがないか十分にご確認下さい。

確認者氏名

浅原賞学術奨励賞

記入例

(事務局記入欄)

受付番号:

受理日:

第●回 自動車技術会賞受賞候補推薦書

推薦者	①会員資格	②会員番号	③氏名(氏と名の間は半角空白)	④氏名ふりがな	⑤勤務先名	⑥部署・役職
	[正会員]と記入	7桁の番号	自動車 太郎 (必ず押印→) 印	じどうしゃ た ろう	(株は省略せず、「株式 会社」と記入)	
⑦連絡先	所在地:	〒 - 住所は県名から記載				
	電話:	03-3262-8211	FAX:	03-3261-2204	E-mail:	jidousha@jsae.or.jp

受賞候補者	⑧会員資格	⑨会員番号	⑩氏名(氏と名の間は半角空白)	⑪氏名ふりがな	⑫勤務先名	⑬部署・役職	
	[正会員]または[なし]等と記入	7桁の番号	車 操縦朗	くるま そう じゅうろう	(株は省略せず、「株式 会社」と記入)		
	⑦連絡先	所在地:	〒 - 住所は県名から記載				
		電話:	03-3262-8214	FAX:	03-3262-8211	E-mail:	kuruma@jsae.or.jp
	⑮生年月日(西暦)	1960年10月25日					
	⑯略歴	最終学歴	学校名・学科/専攻名: ●●大学 大学院 ●●研究科 ●●専攻 など 卒業/修了年月(西暦): 1985年3月				
		職歴(主なものを記入)	規定のフォントで収まる程度				
⑰受賞歴	自動車技術会賞	受賞候補者に自動車技術会賞の受賞歴がないことを確認して右欄の「□」を「■」にして下さい。→				□自動車技術会賞受賞歴なし	
	他賞(最近のものから2件まで記入)	授賞団体名・賞名	受賞年月(西暦)	受賞件名			
		技術部門貢献賞	2009年8月				
			年 月				

推薦内容	⑱推薦事項	推薦する「論文」または「論文に準ずるもの」の表題:	掲載誌と同一の論文名を記入。			
	⑲推薦理由	掲載公表印刷物名・巻・号:	自動車技術会論文集Vol.● No.●	掲載公表印刷物発行年月:	●年●月	
		<p>500文字以内、設定のフォント・サイズを使用する。ただし、記号や数式など表現上問題が生ずる場合は他のフォントに変更してもよい。 商品名の使用は不可。また、専門用語・略称・略語を使用する場合は説明・正式名称を文末に※印付きで記すこと。</p> <p>⑱の論文等が複数名の共同執筆によるもの場合は、当該論文等における受賞候補者個人の寄与度についての説明を記すこと。</p>				
⑳添付・補足資料の名称	添付資料:	上記「論文」または「論文に準ずるもの」				
	補足資料:	資料の誌名・巻・号・タイトルなどを記入				

本会からの事務連絡先	(連絡先を下記より一つ選び、「□」を「■」にして下さい。なお「共著者・その他」の場合のみ、連絡先を下欄に記入してください)					
	<input type="checkbox"/> 推薦者		<input type="checkbox"/> 受賞候補者		<input type="checkbox"/> 共著者・その他(事務担当者、秘書など)	
	氏名:	共著者・その他の場合のみ記入★	勤務先名:	部署・役職:		
	所在地:	〒 -				
	電話:	FAX:	E-mail:			

推薦事項の評価を希望する分野について

推薦事項の評価を希望する分野を、下表の分野番号（黄色列）より選択し、第一希望および第二希望をご記入下さい。

また、キーワードは別表「自動車技術会基準キーワード」よりお選び下さい。第1カテゴリのキーワードの記載は**必須**です。（第2、第3カテゴリのキーワードは複数選択可）

記入例

	分野番号	キーワード
第一希望分野	1	①熱機関←第1カテゴリ必須 可変動弁機構 過給
第二希望分野	3	⑩環境・エネルギー・資源←第1カテゴリ必須 排出ガス 高耐用技術

分野番号	分野	左記分野に対応する、 自動車技術会基準キーワードの「第1カテゴリ」
1	エンジン・熱流体	①熱機関 (⑨熱・流体 <<エンジン>>)
2	車両・ エレクトロニクス	④車両運動、⑤車両開発、⑥振動・騒音・乗り心地 ⑦安全、⑧人間工学 ⑬エレクトロニクス及び制御、⑭情報・通信及び制御
3	新動力・基盤技術	②動力伝達系、③EV・HVシステム ⑨熱・流体 ⑩環境・エネルギー・資源、⑪材料、⑫生産・製造 ⑮社会システム、⑯共通基盤、⑰その他のモビリティ